

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次整備提案書



### ※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。
- ④ 提案書、添付資料を審査員以外に配布する際は白黒コピーとなります。

整備提案名 (25字以内)	本牧山頂公園里山あそびプロジェクト
提案グループ名 (25字以内)	本牧山頂公園和田山地区地域連絡会
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月2回連絡会定例会を開く</li> <li>・ お試しプレイパーク</li> <li>・ 子供が祝いもちをつく</li> <li>・ 野草摘み</li> <li>・ 自然遊び・自然観察</li> <li>・ 連絡会ニュース発行</li> </ul>
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	<p style="text-align: center;">中 区 本牧山頂公園和田山区域 町・丁目</p> <p>※位置図及び現況写真(各A4判1ページ)を添付してください。</p>
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	<p>水道水だけでなく、雨水等を集水し、使いまわす場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水貯留施設(付帯施設の屋根やパーゴラの活用)</li> <li>・ 手足の洗い場</li> <li>・ せせらぎ</li> <li>・ ジャブジャブ池(泥んこ遊びができる場)</li> </ul> <p>四季折々の野菜、野草等を育てる場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習農園、野草園(今も生息している野草を集め)</li> <li>・ 実のなる木を集めた樹木園(在来種を中心に復活)</li> </ul> <p>体験遊びを演出、支援する場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休憩のための手づくりパーゴラ</li> <li>・ 倉庫(遊具、道具等を収納)</li> <li>・ 落葉等を使って堆肥を作る堆肥舎(カブトムシづくりも)</li> <li>・ 自然の恵みを食するための施設(防災拠点でもありカマドベンチなど)</li> </ul> <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約 500 万円</p> <p>※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。(記入上の注意③)</p>
整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)	<p>都市化が進む中区において自然遊び体験の乏しさが、子どもの心身の発育、危険回避能力、コミュニケーション能力、命への畏敬、感性等の低下が言われ危惧。子どもも大人も自然も生き生きする場を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「生物多様性」に寄与する整備</li> <li>・ 自然観察・農園づくり・食育等の「体験学習」</li> <li>・ 昔遊びや自然伝承等を通じた「多世代交流」</li> <li>・ 地域在来の樹木・野草・農産物等を継承する「コミュニティガーデン」</li> </ul>

<p><b>整備の効果</b>  (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かつて自然の中で遊んできた世代がリーダーとして子ども達に伝え、子どもとつながり、活動することで元気になる。</li> <li>・活動ができない人も公園に足を運び、気持ちが安らぐ、元気になる空間。</li> <li>・公園という場で身近な自然環境に関わりを持ち「エコできる事」を子どもも大人も一緒に考えていく。</li> </ul>
<p><b>整備した施設の維持管理・運営</b>  (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民がボランティアで定期的に清掃・草刈りなどをする。</li> <li>・季節行事などを開催し地域交流を図り次世代に伝承していく。</li> <li>・観察会、学習会などを開き啓蒙活動をする。</li> </ul>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ  ○提案を実現するために活用する地域の資源  注4)  ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園内の水を排水溝の流してしまうのではなくせせらぎにする。</li> <li>・米軍接收後地でかつての里山遊びを繰り広げ伝えていく。</li> <li>・楽しみながら自然も人も生き生きできる空間をつくりたい。</li> <li>・子どもたちと人のつながりを広げていく時「失敗をバネにできる」メンバー（大人）の許容量。</li> <li>・連絡会のメンバーはそれぞれ中区内で地域活動をしている人が多く人のつながり。人カパワー。</li> <li>・都市で自然、人の関わりを繰り広げる活動は難しい中で、「次世代に・・・」と使命感を持ち集っているが、「楽しい集まり」にしたいと心がけている。</li> </ul>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
  - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
  - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
  - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
  - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
  - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。
  - ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
環境創造局公園緑地管理課 活動推進担当係長 環境創造局施設管理部南部公園緑地事務所 都心部公園担当係長 環境創造局施設整備部 公園緑地整備課担当係長	地域の同意を得る 整備詳細については協議する

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- ✓ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ✓ 記載内容に個人情報に含まれていません。





